

事務事業名		図書館運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	14 生涯学習の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 学習環境の充実				01	10	05	05	01
根拠法令		図書館法		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		事務事業区分				
部課名		企画政策部市立図書館		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～)						
所属	課長名	千葉 博世		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	係名	総務係	電話	26-4478						
	担当者	吉田 裕勇	内線							
	※全体計画欄の総投入量を記入									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
大船渡市立図書館の運営や施設管理に関する事業。 主な業務は、 ①大船渡市立図書館協議会を開催し、委員(任期2年)から図書館運営等に対する意見をいただく。 ②図書館運営に係る専門的な知識等を習得するための職員の研修。 ③図書館だよりの発行や、市の広報、図書館のホームページにより図書館の情報を提供する。 ④施設設備の管理等の委託、修繕等。 ⑤移動図書館車の維持管理。 ⑥岩手県立図書館をはじめとする他館との連携等。 事業費は、図書館協議会の運営費や職員の研修、施設設備に係る光熱水費・燃料、修繕料、委託料等に支出される。				総投入量 (千円)	国庫支出金					
					都道府県支出金					
					地方債					
					その他					
				一般財源						
				事業費計(A)					0	
				正規職員従事人数						
				延べ業務時間						
				人件費計(B)					0	
				トータルコスト(A)+(B)					0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
大船渡市立図書館協議会開催(年2回)/各種図書館職員専門研修等受講/図書館情報の提供(図書館だよりの発行、HP更新、新聞社への情報提供等)/施設管理の委託/移動図書館車の維持管理 等		ア	職員研修参加・会議出席回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	図書館情報提供回数
図書館協議会は2回開催、各種外部研修等は6回程度の受講等を予定している。その他は前年度と同様。		ウ	施設管理等委託件数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民。図書館情報を必要とする人。図書館施設。		名称	
		単位	
		カ	人口
		キ	図書館利用登録者
		ク	図書館延べ床面積
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
図書館のサービス、催事等の周知を図るとともに、施設設備を良好に管理することにより、多くの人に安全で快適に図書館を利用してもらう。		名称	
		単位	
		サ	図書館資料の貸出点数
		シ	図書館資料の貸出者数
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	各種サービスの利用回数
学習に必要な機能を備えた施設・設備を利用できる。生涯学習に関する情報が容易に入手できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	16,974	18,530	19,701	18,520	18,520	18,520
	事業費計(A)		千円	16,974	18,530	19,701	18,520	18,520	18,520
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	4	5	5
		延べ業務時間	時間	2,410	2,000	1,450	1,450	1,450	1,450
		人件費計(B)	千円	9,640	8,000	5,800	5,800	5,800	5,800
		トータルコスト(A)+(B)		千円	26,614	26,530	25,501	24,320	24,320
⑤ 活動指標		ア	回	16	16	9	14	14	14
		イ	回	171	197	200	210	220	230
		ウ	件	15	15	15	15	15	15
⑥ 対象指標		カ	人	38,167	37,633	36,933	36,806	36,679	36,437
		キ	人	13,823	14,618	15,771	16,200	16,600	17,000
		ク	m ²	1,415	1,415	1,415	1,415	1,415	1,415
⑦ 成果指標		サ	点	153,641	150,653	140,594	144,800	149,100	153,500
		シ	人	27,852	27,685	25,340	26,100	26,800	27,600
		ス	回	3,860	4,332	4,539	4,600	4,700	4,800

事務事業ID	0873	事務事業名	図書館運営事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年の図書館設置条例により図書館を設置。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	年々、利用者のニーズが多様化するも、地域を支える情報拠点としての社会的存在意義が高まり重要性が増した。平成20年度に、新施設(リクスホール)に移転した。移転から10年が経過し、設備等の修繕が年々増加している。加えて、移動図書館車は、29年度において主要構成部分であるエンジンに故障が発生し、運行の休止を伴う修理が必要となるなど、経年劣化が顕著である。車両の更新について市総合計画に搭載を検討するなど、具体的な更新について庁内合意を形成する時期となっている。 また、各種電子メディアの普及等、利用者を取り巻く情報環境が多様化しており、対応するサービスの提供が求められている。ハード面においては、資料管理に関する新たな技術(ICタグ等)が普及しつつあり、状況を注視していく必要がある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	利用者より、各種資料の充実、幅広い情報の提供など、図書館サービスの向上や快適な利用環境の提供を要望されている。 また、図書館協議会においても、これまでの枠にとらわれない図書館のあり方やサービスを期待されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 図書館機能の充実・良好な管理は、市民が自ら学ぶための学習環境を提供する機関として、生涯学習の充実に直結するので、上位施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共財としての側面が強く、生涯学習、社会教育を提供する機関として高品位のサービスを保つ必要がある。また、当地域においては民間による同等サービスの提供は見込めないことなどを勘案し、妥当と考える。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 図書館のサービスは、住民全てを対象とすることから、対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ より一層、積極的に図書館から情報を発信(資料提供)することにより向上が図られる。また、委託内容、委託先の見直しを必要に応じて行い、より効率的な管理を志向することで、改善の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 図書館情報の発信は図書館利用を高めるため、今後も継続が求められる。加えて、社会状況の変化に対応するために、研修等により積極的に最新情報の取得に努める必要がある。また、施設・設備の管理を適切に行う面からも事業継続が必要である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げるに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 本事業は、図書館業務における総務的な側面が強く、外部からの支援はなまじいと考える。施設設備の管理等の委託については、専門性が高い一部を除き、業者間での競争の結果が反映されており、適正な金額となっている。 人員・事業費とも最低限で運営しており、事業費の削減は難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げるにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) リクスホール開館に際し、図書館と市民文化会館の職員は相互に兼務となり、委託契約事務を市民文化会館で行うなどの効率化に努めている。これ以上の削減は図書館自体の機能維持の障害となる可能性がある。 また、資料の貸出等のフロア業務等は主に臨時職員で対応しており、最低限の正職員で運営しているため、人件費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？成果を下げるにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 図書館は公共財としての側面が強く、その利用条件は無料原則に基づき市民全てに公平であることから、受益の機会、費用の負担は適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																			
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	➡	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
業務分担を見直し、職員が対応する分野、臨時職員が対応する分野、委託等外部に依頼する分野を明確にし、委託できるものについては委託を進めてきている。 図書館企画(事業)への住民参等、既存の枠にとらわれない取り組みを検討する。 移動図書館車の巡回の継続のため、近い将来、車両の更新が必須である。多額の支出がとなるため、現車両の使用期限の見極めと、更新のための庁内合意を形成する必要がある。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	図書館と市民文化会館の事務室を一体化し、職員も相互に兼務とすることで、効率的・効果的な運営が図られる。 今後も、適時ホームページ・広報・コミュニティFM・報道機関等を有効に活用し、情報の発信に努めていく必要がある。